



新牛久ごみニュース

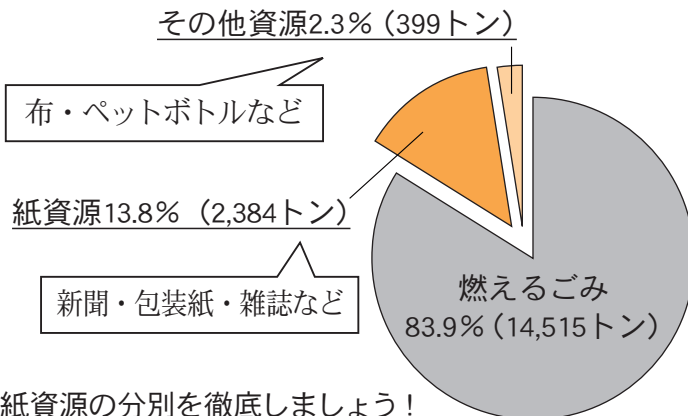
ごみダイエツト② ごみ減量大作戦

今回はごみとして捨てられてしまう資源物のお話です。

☆燃えるごみの中の資源物

牛久市の家庭から出る燃えるごみの中には16%以上の資源物が混入しています。まさに「分ければ資源、混ぜればごみ」となっています。ごみに混ぜられていた資源物は牛久クリーンセンターで焼却されてしまうため、資源物としてリサイクルされません。下の円グラフは燃えるごみに入っていた資源物種別の割合です。

燃えるごみの中に混入していた資源物の割合



※紙資源の分別を徹底しましょう！

☆分別作戦② 資源物の種類は10分別

分別の仕方が分からないなどのご意見がありますので、右下の表をご覧ください。分別されず、燃えるごみの中には①から④の紙類が非常に多く混入しています。詳しくは「ごみルールブック簡易版 資源物分別表」または市ホームページをご覧ください。

資源物の10分類

①新聞
②雑誌・雑紙
③段ボール
④牛乳パック類
⑤古着・古布
⑥缶類
⑦びん類
⑧ペットボトル類
⑨木くず類
⑩陶磁器

①～④の紙類は「燃えるごみ」ではなく「資源物」です。

☆分別作戦③ 分別し資源物に出す

家庭から出る燃えるごみの中に混入している資源物は、分別することで「資源物」に生まれ変わります。分別という一手間を掛けることで資源の枯渇を防ぎ、ごみの削減さらに環境を守る行動につながるようになります。

◎地球環境を守るのは私たち！

私たちが豊かな暮らしを求めた結果、地球環境破壊に大きな影響を及ぼしています。この付けを私たちの子孫に負担させないためにもライフスタイルを見直しましょう！

【お知らせ】

- ①牛久市指定袋「プラスチック専用袋」の名称が変更になります
名称：「白色トレイ・白色発泡スチロール専用袋」
実施時期：4月1日※在庫状況により順次変更してまいります。
- ②「牛久市行政情報出前講座」
ごみの減量方法や分別方法などについて出前講座をご活用ください。対象は市内に在住、在勤、在学している構成人員が10人以上の団体・グループの方です。



おわびと訂正

「広報うしく12月1日号」12ページの「新・牛久ごみニュース」の中で、1年間に1世帯が捨てた生ごみ量を約570kgとお伝えしましたが、正しくは230kgです。おわびして訂正します。

- ◇分別作戦① まずは「買う前に」
- ◇本当に必要なか検討しましょう。
- ◇過剰包装品の購入は控えましょう。
- ◇環境にやさしいものを選びましょう。
- ◇水筒を持ちましょう。
- ◇マイバッグなどを使いましょう。

